

2022年3月 日

様

## 市民連合 要請書

自公政権に対抗してのご奮闘に敬意を表します。

内外情勢は大きく揺れ続け、立憲野党、国会が解決めざして努力しなければならない課題が山積しています。ロシアによるウクライナ侵攻と平和の確立、オミクロン株の感染拡大と抜本的対策強化、権力の私物化と犯罪の糾明、憲法改悪への動き、貧困と格差の拡大、沖縄辺野古基地建設の強行、また2022年度予算編成等です。

1月17日から通常国会が始まりました。私たちは、岸田自公政権の本質は、「安倍・菅政権」と基本的に変わらず、日本の平和と民主主義を脅かす政権だと考えています。それゆえに立憲野党の奮闘を期待するものです。

ロシアのウクライナ侵略と核兵器による脅迫は絶対に許せません。国際法、国連を基本にした日本の役割を強く求めます。私たちも世界の平和勢力と連携し、平和確立の一翼を担う決意です。しかし一方この危機に便乗して「核シェアリング」などという「安倍元首相」の発言なども許されません。

立憲野党のみなさんのこの間のそれぞれの立場でのご努力、連携してのご努力に敬意を表します。引き続きご努力を要請します。

また7月には参議院選挙が予定されています。参議院選挙の戦い方について、多くの議論が重ねられています。はっきりしていることは、自公政権の立憲主義破壊の暴走、新自由主義路線の継続など許されるものではありません。この選挙で、自公政権の政策転換を求める必要があります。そのためには立憲野党の連携・共闘が必須であると思います。そして市民団体、労働団体、多くの市民が結集することです。

そうした立場で下記の通り要請しますのでよろしくご検討をお願いします。

### 記

1. 通常国会では、立憲野党の連携を強化し、自公政権と対決し、政策転換を勝ち取ること。
2. 貧困と格差の拡大、コロナ感染拡大、ロシアへの経済制裁などの結果市民生活の危機が続くことが予測され、万全の対策を求めること。
3. 参議院選挙に向けて、政策の調整、候補者の一本化など連携を強化し、自公勢力と闘う体制を早急に作り上げること。

以上